

「文化のWAプロジェクト」（日本とアジアの文化交流）継続への提言

国際交流基金アジアセンター事業諮問委員一同

令和元年 10 月 31 日

「文化のWAプロジェクト」（日本とアジアの文化交流）継続への提言

日本と ASEAN 各国の尊敬する首脳のみなさまへ

平成 25 年（2013 年）安倍総理がイニシアティブを発揮し、ASEAN 各国首脳が強い支持を示した「文化のWA（和・環・輪）プロジェクト」に対し、改めて共感と感謝の意を表します。その事業を実施するため国際交流基金の中にアジアセンターが設立され、5 年が経過した今、日本と ASEAN 各国を代表する国際交流基金アジアセンター事業諮問委員全 21 名は以下のとおり提言致します。

1. 私たちは、人と人を繋ぎ、ネットワークを広げ、アジア域内の文化における協働を促進した国際交流基金アジアセンターに心からの感謝を表します。いくつかの顕著な成果の中でも特筆すべきは、5 年間で「日本語パートナーズ」派遣事業を通じて 135 万人以上の若い世代が裨益し、芸術・文化交流事業を通じて世代を問わず 470 万人以上が裨益し、大多数の人々から互いを尊重する双方向の交流事業は有益であるという好意的な反響が寄せられたことです。

ただし、「文化のWAプロジェクト」および国際交流基金アジアセンターの活動は 2020 年度までの期限付きとなっています。

2. 私たちは、「文化のWAプロジェクト」が、日本と ASEAN 諸国及び ASEAN 諸国間の友好と相互理解を深め、次の世代にもつながる利益をもたらしていると確信しています。日本と ASEAN 諸国の市民が、共により近づき、地域を横断する新たな文化を創出し、そして今後も平和に発展していくために、これまでに築かれた文化交流の基盤が一層強化・拡大されていくことを望みます。

そのため、私たちは日本政府に対し、2021 年度以降もアジアセンターの活動が継続されるよう強く求めます。また ASEAN 各国政府に対しても、日本政府へ 2021 年度以降もアジアセンターの活動が継続されるよう要望することを心から希望いたします。

アジアセンターの活動が継続されることは、現在日本で議論が進んでいる外国人労働者受け入れに関連する多文化共生の推進にも寄与すると考えます。もしアジアセンターの活動に終止符が打たれ継続されないというようなことがあれば、「文化のWAプロジェクト」の精神が失われることになり、ASEAN 諸国において日本が培ってきた信頼感が揺らぐことも懸念されます。

5 年前、アジアセンターは種を蒔き、それは若く健やかな木になりましたが、果実を得るためにはこれからも育てていかなければなりません。これは、日本が迎えた新たな「令和」という、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」時代の時宜にもかなった施策なのではないでしょうか。

(別添)

国際交流基金アジアセンターの設立経緯

平成 25 年 (2013 年) 1 月に安倍晋三内閣総理大臣が東南アジア外遊の際に表明した対 ASEAN 外交 5 原則のうち、「4. アジアの多様な文化、伝統を共に守り、育てていく」を受け、その具体的施策について、幅広い視点からアジアの文化交流政策策定に向けた総合的な検討を行うため、アジア文化交流懇談会が平成 25 年 (2013 年) 4 月に設置され、同懇談会は同年 9 月に安倍総理に提言を提出した。

同提言を受け、日 ASEAN の 40 年間の友好と協力の記念として、平成 25 年 (2013 年) 12 月に日本で開催された日・ASEAN 特別首脳会議において、安倍総理は、ASEAN 諸国とのより深い文化面でのつながりを促進することを目的とする「文化の WA プロジェクト (和・環・輪) ～知り合うアジア～」を発表し、ASEAN 諸国の全首脳から強く支持された。

同「文化の WA プロジェクト」実施のために、2020 年度までの期限付きで、平成 26 年 (2014 年) 4 月に独立行政法人国際交流基金の中にアジアセンターが設置された。

あわせ、アジアセンターの活動を支えるために、国際交流基金の理事長への助言提供を目的に、アジア文化交流懇談会メンバー 11 名に ASEAN 10 ヶ国から各国 1 名を加えた、計 21 名の有識者からなる国際交流基金アジアセンター事業諮問委員会が発足した。

以上

国際交流基金アジアセンター事業諮問委員一同

<日本側委員>

山内 昌之 【座長】	東京大学名誉教授
石井 恵理子	東京女子大学教授、日本語教育学会会長
井上 弘	株式会社TBSテレビ相談役
猪子 寿之	チームラボ株式会社代表取締役
加藤 雅也	俳優
コシノ ジュンコ	デザイナー
迫本 淳一	松竹株式会社代表取締役社長
知花 くらら	モデル、国際世界食糧計画（WFP）日本大使
鳥井 信吾	サントリーホールディングス株式会社代表取締役副会長
長谷川 三千子	埼玉大学名誉教授
宮廻 正明	東京藝術大学名誉教授、日本画家

<ASEAN 側委員>

ダトー・パドゥカ・ハムディラ（ブルネイ）	ブルネイ日本友好協会会長
プー・ソティレアッ（カンボジア）	国立カンボジア平和協力研究所 専務理事、カンボジア王国政府顧問 映画監督
リリ・リザ（インドネシア）	歌手、音楽会社経営
ポーンテープウィサイ・サイティラット（ラオス）	漫画家
ダトゥ・ラット（マレーシア）	メッタ開発財団創設者・前代表
ラーパイ・センロー（ミャンマー）	アテネオ・デ・マニラ大学歴史学科准教授
アンベス・R・オカンポ（フィリピン）	カルチャーリンク創設者・芸術監督
ゴー・チンリー（シンガポール）	タマサート大学副学長（国際担当）
キティ・プラサートスック（タイ）	ハノイ国家大学人文社会科学大学 人類学部学部長 准教授
グエン・ヴァン・チン（ベトナム）	